

山梨県衛生環境研究所年報

令和5年 第67号

Annual Report of the Yamanashi Institute
for Public Health and Environment

No. 67, 2023

山梨県衛生環境研究所

はじめに

山梨県では「ふるさと強靱化」「開の国プロジェクト」を二本の柱に掲げ「豊かさ共創社会やまなし」の実現に向け、施策に取り組むこととしております。

こうした中、衛生環境研究所は、県民の安全・安心な生活を守るため、食の安全確保や感染症対策、健康危機発生時の迅速な対応が求められております。

また、豊かな自然や豊富な水資源・緑を守り、確実に未来につなげていくことも重要な使命ととらえ、大気、水質の監視、環境放射能の調査、環境汚染事故への対応等、様々な要請に応えていくための取り組みを行っております。

さて、世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から法律上5類に分類され、ひとつの節目を迎えました。コロナ禍での課題をふまえて地域保健法等が改正され、地域保健対策の科学的かつ技術的に中核となる機関として衛生研究所が位置づけられました。また当所では、検査機器の導入で検査室が手狭になったこともあり、新たな検査棟の建設に着手し、令和6年夏に完成しました。今後は未知なる感染症に備えて、平時から試験検査等の体制を整備するとともに、実践型訓練等を通じて人材を育成し、継続的に機能強化に努めていきたいと考えております。

当所は今後も引き続き、本県の衛生と環境を守る試験研究機関として、試験検査及び調査研究を着実に実施し、健康危機や環境課題に迅速かつ的確な対応ができるよう、職員一同研鑽に励み能力向上を図って参ります。

ここに、令和5年度の調査研究成果と業務概要を「山梨県衛生環境研究所年報第67号」として取りまとめましたので、御高覧の上、御指導・御助言をいただければ幸いに存じます。

令和6年12月

山梨県衛生環境研究所
所長 岸本里香

目 次

I	組織と沿革	1
II	業 務 報 告	
	企画情報科・総務スタッフ	2
	生活科学部	6
	微生物部	8
	環境科学部	11
III	資 料	13
IV	論文抄録および学会発表	25
V	研 究 報 告	27
	LC-MSMS による水道原水中農薬分析法の検討	28
	下水中の新型コロナウイルス遺伝子の検索	32
	当所で確認された新型コロナウイルス感染症患者の疫学解析	36
	山梨県におけるインフルエンザウイルスの検出状況（2023～2024）	46
	ブタクサの開花日予測に向けたブタクサの開花動態と気象データの解析	50
	山梨県内の入浴施設由来 <i>Legionella pneumophila</i> の lag-1 陽性率	53
	山中湖平野ワンドにおける底質及び間隙水、底層水の 栄養塩類の相互関係について	56